



○全力を出し切った！運動会！●

天気にも恵まれ、無事に運動会を行うことができました。各クラスで応援練習が盛り上がってきて、子どもたちの運動会への気持ちが膨らんできていることを感じていました。前日の帰りの会では、「がんばるぞ！」という気持ちが表情に表れていました。前日準備や当日は、保護者の皆様にもたくさんのご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

本番の子どもたちの様子はいかがだったでしょうか。徒競走では、前を見て「自分に勝つ！」を合い言葉に、全力で進みました。リレーでは、1年生からバトンをもらい、3年生へバトンを繋ぐという重要な役割に緊張しながらも、先輩としてリードをしながら懸命に走りました。チェックリ玉入れでは、おうちの方との対決を楽しみに練習から励んでいました。二年生の活躍は、競技だけで留まりません。応援席でみんなで立ち上がり声がかかるまで応援をする姿や、開閉式で話を聞く姿など、たくさんの素晴らしい姿がありました。勝ちたい！という気持ちも大切ですが、仲間と一緒に頑張る素晴らしさを実感できたのではと思います。



🐏 芸術とヤギ 🎨

十日町市の鉢集落にある「絵本と木の実の美術館」に見学に行きました。閉校した学校がそのまま美術館になったということを職員の方から教えてもらいました。学校の教室の壁一面に描いてある作品や、子どもたちの背を超えるくらい大きな作品、天井にぶら下がっている作品など、これからの図工の作品作りのヒント担ったのではないかと考えています。



やぎの「しずかちゃん」にも出会いました。子どもたちはえさをあげたい！と干し草をしずかちゃんにあげていました。いっぱい食べてくれたので、子どもたちもうれしかったようです。



🐏 「カラフル探検隊」の『やりたい』こと 🎨

妙法牧場や絵本と木のみの美術館を探検してきて、これからの生活で子どもたちの願いを話し合いました。4つのキーワードが出てきました。“行きたい” “知りたい” “あそびたい” “えさをあげたい”です。子どもたちは、津南町には妙法牧場のような知らない施設があることから“行きたい・しりたい”という願いが生まれました。また、41人みんなで見学に行って楽しい時間を過ごし、もっとみんなで“あそびたい”という気持ちが芽生えました。そして、“えさをあげたい”は、牛やヤギとふれあったことで、動物とかかわりたいという願いが生まれました。そこで、様々な方面に連絡を取ったところ、子ヤギを貸してくださる方が見つかりました。来週からは、“あそびたい” “えさをあげたい”という願いに向かって41人みんなで見学に出発して、実現に向けて学習を進めていきたいと思っています。子どもたちの中から「お母さんが、小さい頃、ヤギのお世話をしたことがある！」と話してくれました。ぜひ、お家の方からも後押ししていただけると嬉しいです。

📱 連絡 📱

今週からタブレットを持ち帰って、「音読」の宿題を始めます。子どもたちには、自分の音読を自分で聞くことで、もっと上手に読みたいと意欲的になってくれればと考えて、録画をして保存できるように練習しました。タブレットを家庭に持ち帰るに当たり、次のことを子どもたちに話しました。安全でプライバシーに配慮して使用できるように、ご家庭でも見守っていただきたいと思います。

- ① 家族の大切なものが写らないような場所で録画すること。
- ② 朝早すぎたり、夜遅すぎたりしない時間帯に使用すること。
- ③ 家庭では、ロイロノートの録画機能だけを使用すること。(徐々に増やしていく予定)